



# 佐高

スーパー グローバル ハイスクール

# SGH通信 2019

No. 21 (2019年10月3日発行)

佐高 SGH インスパイア ファイル

## 「トビタテ！留学 JAPAN」で短期留学

2年1組の山本寿々さんが、トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】に応募し、見事に選考されオーストラリアに短期留学してきました。7月28日から8月13日までの17日間の活動報告をしてもらいましょう。



私の今回の留学テーマは異文化理解とオーストラリアでの働き方を学ぶことでした。現在外国人労働者問題が日本で深刻なこと、そして私自身は将来海外で働くことに興味があるのでワーキングホリデーなどで国外からの労働者の多いオーストラリアへ留学をしました。

### ① 自主活動



観光地バッセルトンジェティでのアンケート調査

学校では同年代の生徒に対して異文化理解についてどのように受け止めているのか、また様々な職業に就く人々に労働環境についてのアンケートを合わせて100人に実施しました。生徒へのアンケートでは全て生徒が異文化理解に対して肯定的な意見を持っていて、Diversity「多様性」や multiculturalism「多文化主義」を重んじていると回答しました。実際、現地では良い意味でオーストラリア人というものが分からなくなるほどたくさんの方の国の文化が混在していました。

働く人へのアンケートでは、労働環境とワークライフバランスについて図書館司書や派遣社員、中には刑務所で働く人など約30種の職業の人に実施できました。ほとんどの人は仕事と生活を両立できていると答え、家庭での時間をしっかり持つことでバランスを維持しているそうです。しかし、ある病院で働く看護師は働き詰めでストレスを抱えていると答えました。

日本よりも労働環境の整ったオーストラリアでも職種によってはまだまだ整備が十分でないことが分かりました。

## ②アンバサダー活動

またトビタテでは日本の文化を伝えるアンバサダー活動も大切な役目です。私は日本語でしか意味の通じない言葉について書道を使って教えました。また現地の小学校に訪問し、折り紙を折ったり、剣玉で遊んだり、豆つかみゲームをしたりと日本文化を通じて交流しました。皆最初は戸惑っていましたが遊んでいくうちに楽しんでくれました。私自身も彼らとの交流を経て日本文化をより好きに、誇れるように思えたので良かったです。

アタムプライマリースクール year4 の生徒



## 感想

トビタテの合格通知をもらった時ははたして自分なんかでいいのかとってしまったし、行動力や発信力があるトビタテ生の中、劣等感しか感じられませんでした。事前研修で異なる分野に興味を持つトビタテの仲間から刺激を受けて留学に対するモチベーションが上がりました。また自分で選んだ国へ明確な目的を持って行ったので充実感を感じられたのはもちろん、日々新しいことに挑戦したり、自分から人に話しかけたり、積極的に行動できた気がします。加えて成し遂げることが難しいと思っていた「100人アンケート」を達成できて大きな自信につながりました。何事もやる前からあきらめることなく挑戦してみようとポジティブに思えるようになったので少しは自分の中で変わったかなと思っています。留学で得た経験を多くの人たちへ伝えていき、今後のSGH活動や将来に活かしていきたいと思います。

## 最後に…

海外でやりたいことがある人、自分を変えたい人、きっとトビタテが何かきっかけをくれます。現在、トビタテ！留学JAPAN高校生コース6期の募集が始まっています。高校生の今だからこそできる経験、得られる学びがきっとあると思うので興味があったら是非調べてみてください！

『トビタテ！留学 JAPAN とは 』



2014年からスタートした官民共同の留学支援制度です。これまでもこの制度を利用して6000人以上の学生が留学しました。手厚い奨学金だけでなく、留学プランを自由に設計できること、また留学前後で個性豊かな仲間に出会えること等沢山の魅力があります。

高校生コース第五期では54カ国に835人が留学しています。